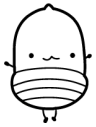


# かほだより

## 1 回目バルク乳検査の成績について

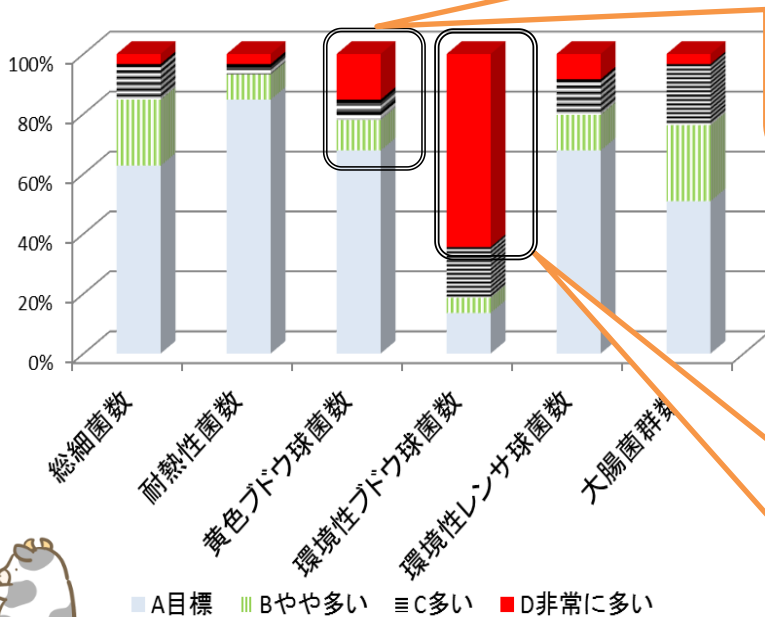


酪農生産性向上対策事業により6~7月に実施した1回目のバルク乳検査では、採材等にご協力頂きましてありがとうございました。

58戸(59検体)で実施した検査の集計結果をお知らせします。

陽性農家 32%

各細菌数のランク別農家の割合



### 黄色ブドウ球菌(SA) 伝染性乳房炎の原因菌

対策：SA排菌牛の淘汰や隔離  
最後搾乳、乾乳期治療の徹底等

排菌牛の特定など詳細は  
家畜保健衛生所まで  
ご連絡ください

D ランク 64%

### 環境性ブドウ球菌 環境性乳房炎の原因菌

対策：乳頭清拭の適切な実施  
搾乳手順の再確認  
搾乳機器洗浄の再確認  
牛床を乾燥させる 等



- ◎無乳性レンサ球菌は全検体で分離されませんでした。
- ◎BVDウイルス遺伝子は全検体で検出されませんでした。
- ◎マイコプラズマは1検体から分離されました。

マイコプラズマ性乳房炎は少数ですが当所管内でも発生があるため、乳房の腫脹と硬結が複数分房にみられ、乳量の著減もしくは泌乳停止に陥るような乳房炎では注意が必要です。



## 《バルク乳検査 2 回目の採材日程》

10 月下旬～	JA 大北, JA あづみ, JA 塩尻市, JA 松本ハイランド, JA 木曾 等
11 月～	南信酪農協

※採材・検査にご協力ください

